

第2回 滋賀県流域治水推進審議会（現地視察） 概要

1. 開催日時 平成28年11月18日（金） 10:00～16:30
2. 開催場所 甲賀市信楽町（黄瀬～勅旨）、米原市村居田、長浜市虎姫
3. 出席者

流域治水推進審議会委員

上田委員、植平委員、大村委員、菊池委員、北井委員、谷永委員、林委員、山下委員、山中委員

地元

甲賀市信楽町黄瀬区長

事務局

土木交通部流域政策局流域治水政策室

4. 内容

■甲賀市信楽町（黄瀬～勅旨）

県バスにて大戸川の狭窄部など地形特性の視察、過去の浸水状況を説明

■甲賀市“黄瀬交流会館さらら”にて説明等

事務局）黄瀬地区水害に強い地域づくりの取組概要等を説明

委員）黄瀬地区では、家屋の建て替えは頻繁にあるのか。

地元）若い世代が草津や水口に出ており、空き家や高齢者の独り暮らしも増えている。建て替えがそれほど頻繁にあるとも言えないが全くないこともない。

委員）大戸川沿いの田が開発される可能性はあるのか。

地元）現在、田は農業振興地域なので、基本的には今後も農地であると思う。

■米原市村居田

市道橋にて下車し天井川、堤防、狭窄部などの地形特性を視察

■虎姫支所にて説明等

【村居田地区】

事務局）村居田地区水害に強い地域づくりの取組概要等を説明

【虎姫地区】

○避難体制について

事務局）虎姫地区水害に強い地域づくりの取組概要等を説明

委員）虎姫地区の避難について難しいことは理解したが、何らかの展望はあるのか。

事務局）避難については、平成25年台風18号で別の市がバスを出して避難誘導されていたことも参考に出来ればと思う。また、逃げ遅れることも想定して、自宅や周辺に避難空間を確保することなどが考えられる。このようなことについて、虎姫地区全体で検討していく必要がある。

委員）虎姫の浸水リスクが高い地区にはどのくらいの人が住んでいるのか。

事務局）約800戸ある。

委員）一度浸水すると浸水時間が長くなりそうな地形である。

委員）住宅開発される可能性の高い地区では、建築規制をかけることによる効果が大いと思う。

事務局) 高時川については、県が河川整備を進める対策について、年内に河川整備計画を地元に説明することになっている。

その後、ソフト対策については市と連携し地域の理解を得ながら進めていく方針である。

○浸水リスクについて

事務局) 200年確率降雨のような大きな雨の場合、虎姫地区は田川からの浸水ではなく、姉川高時川の破堤等で大量の水が流れてくることから浸水深が深くなる。

田川カルバートの改修が終わってから大きな水害がないのは、その様なことも関係している。

○平成25年台風18号時の様子について

委員) 平成25年台風18号時は、虎姫はどのような様子だったのか。

事務局) 平成25年台風18号は、湖北地域ではそれほど降らなかったもので、大きな被害は発生していない。

○要支援者等の情報について

事務局) 要支援者の情報は、市町で整備されているが、個人情報の関係から各自治会の自治会長・民生委員が持っているだけで、災害時にどの様な対応をすべきかなど検討されていないケースが多い。

集落によっては、地域が合意され、普段から要支援者に2人を見守り隊として配置され、普段から訪問も定期的を実施し、要支援者の状態も確認し信頼関係を築くところまでされているような地区もある。通常の時から活用できる情報である。

委員) 私の自治会では、家族構成や幼児、要支援者の情報を毎年度マップにまとめて更新している。旧住民も新興住宅住民も同じようにこのマップ作成作業に協力している。

委員) 個人情報というのは知って活用するというのも重要だが、すべての人が善意で活用しない場合もあるので取扱いが難しいのだと思う。